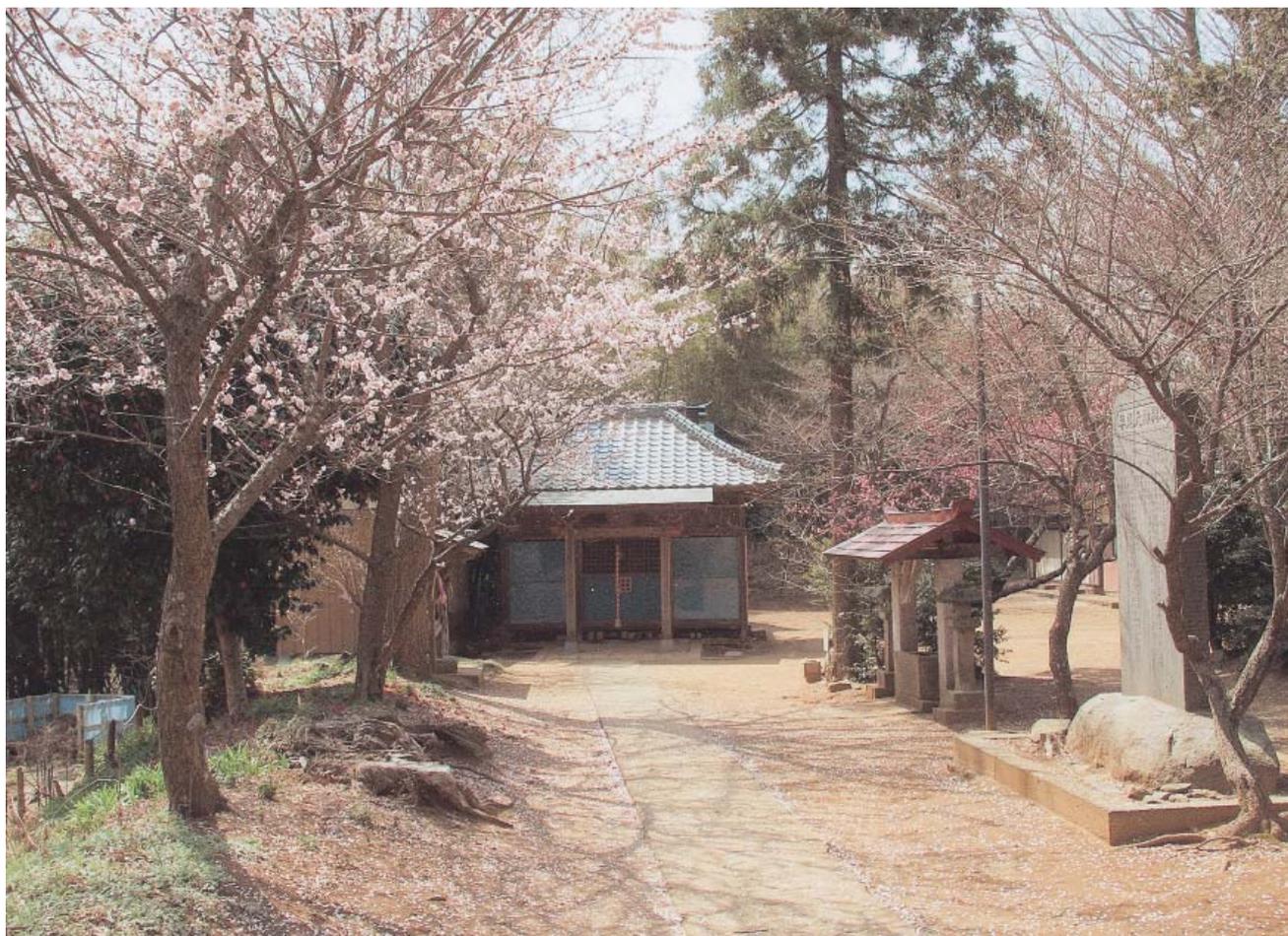


とねまち 議会だより

あなたと議会を結ぶ広報誌



早尾天満宮

写楽会 宮本 信幸 氏 撮影

10月・11月臨時会
12月定例会

No. 117

2012.2.3

平成 23 年第 3・4 回議会臨時会の議決等結果	2
平成 23 年第 4 回議会定例会の議決等結果	3
平成 23 年度予算の補正	4
利根町農業助成金制度の見直しを求める請願書	6
容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進 するための法律の制定を求める意見書の採択を求める請願	7
町政のここが聞きたい（一般質問）	8
お知らせ	11
利根町議会日誌（平成 23 年 10・11・12 月）	12

平成23年第3回議会臨時会の議決等結果 (町長提出議案)

会 期 平成 23 年 10 月 17 日 (月) 実質審議日数 1 日間
 審議議案 町長提出議案 2 件

件名	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別											
		賛成	反対	新井	花嶋	船川	守谷	坂本	高橋	井原	今井	若泉	白旗	五十嵐	
町長提出議案 利根町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	8	2	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	—
	討論													反	
町長提出議案 工事請負契約の締結について	原案可決	7	3	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	
	討論									反					

利根町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例

就学児に係る医療福祉費支給の助成制度について、助成の対象年齢を段階的に拡大し、保護者の医療費に係る経済的な負担の軽減を図るもの。

反対討論 白旗議員

私は、子育て支援を目的とした医療福祉費支給条例の改正に次の理由で反対する。

1. 本来自己負担すべきもの、日本の社会保障はすでに高福祉低負担の状況にある。
2. 利根町の財政状況では適切な施策でない、来年度から所得制限の撤廃するのも論外。
3. 町づくり基金は投資的事業に使うべきである、基金を消費的なことに使うのはできるだけ抑えたい。

工事請負契約の締結について

文小学校校舎の耐震補強工事の契約を締結するもの。

反対討論 井原議員

反対討論をします。今回の文小学校の耐震工事業は、町長が工事の選考をしていて、教育委員会の議論が後回しになっている。疑いが持たれる部分が多い。委員会の組織の中で、校舎が耐震工事をして将来利用するか審議し、その議論を受けて、町長が、町の執行部が執行すべきだと思っている。

平成23年第4回議会臨時会の議決等結果 (町長提出議案)

会 期 平成 23 年 11 月 28 日 (月) 実質審議日数 1 日間
 審議議案 町長提出議案 1 件

件名	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別											
		賛成	反対	新井	花嶋	船川	守谷	坂本	高橋	井原	今井	若泉	白旗	五十嵐	
町長提出議案 利根町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 (0.3%削減)	原案可決	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「賛」は賛成討論、「反」は反対討論を表します。

議長（五十嵐辰雄議員）は、可否同数のとき以外は表決に加わりません。

平成23年度予算の補正

一般会計補正予算

予算額に歳入歳出それぞれ6048万2千円を追加し、総額55億7572万円となりました。歳入の主なものは、民生費負担金「保育料3ヶ所」466万5千円、民生費国庫補助金・県負担金「障害者自立支援給付費負担金」1200万円、財政調整基金繰入金で2089万2千円等であり、歳出の主なものは、民生費の「障害福祉サービス事業」1600万円、「保育所委託料支給事業」2393万9千円などです。

債務負担行為補正は、施設設備管理業務委託等16事項で、平成23年度から平成24年度までで限度額3996万2千円としました。

国民健康保険特別会計補正予算

事業勘定については、予算額に歳入歳出それぞれ6162万5千円を追加し、総額23億461万円となりました。歳入の主なものは療養給付費交付金で、歳出の主なものは退職被保険者等高額療養費です。

施設勘定は、予算額に歳入歳出それぞれ25万8千円を追加し、総額1億2042万7千円となりました。歳入は財政調整基金繰入金で、歳出は医療用機械器具費です。

公共下水道事業特別会計補正予算

予算額に歳入歳出それぞれ77万1千円を追加し、総額3億8292万円となりました。歳入は財政調整基金繰入金で、歳出は公共下水道維持管理費です。

町営霊園事業特別会計補正予算

債務負担行為補正で、町営霊園環境整備業務委託を平成23年度から平成24年度までで限度額326万6千円としました。

介護保険事業特別会計補正予算

予算額に歳入歳出それぞれ1億8100万6千円を追加し、総額12億1820万8千円となりました。歳入の主なものは介護保険災害臨時特例補助金で、歳出の主なものは特例居宅介護サービス給付費です。

後期高齢者医療特別会計補正予算

予算額に歳入歳出それぞれ766万円を追加し、総額2億7346万4千円となりました。歳入は後期高齢者医療繰入金で、歳出は後期高齢者医療広域連合納付金です。

水道事業会計補正予算

収益的収入及び支出の営業費用300万円を追加し、総額11億2681万3千円となりました。支出は資産減耗費です。

人事案件

利根町教育委員会委員

住所 千葉県柏市豊四季台1丁目1番5-204号
氏名 小泉 正和
昭和15年9月18日生
任期 平成23年12月7日から平成27年3月31日

利根町固定資産評価審査委員会委員

住所 利根町大字羽根野850番地206
氏名 宇都宮康雄
昭和14年4月20日生
任期 平成23年12月25日から3年間

人権擁護委員（諮問）

住所 利根町大字布川3004番地
氏名 生芝 俊正
昭和24年1月6日生
任期 平成24年4月1日から3年間



意見書

関東地方整備局及び利根川下流河川事務所の 存続を求める意見書について

提出者 井原議員

反対討論

守谷議員

日本全国に張り巡らされている、地方整備局や地方事務所は二重行政の象徴的な存在です。この2重行政のムダを省くことを政策の一つの柱として、大阪市長選挙に出馬した橋本前府知事は、2位に大差をつけて圧勝。これが民意です。この請願を出した、地方整備局の職員は既得権益を守りたい一心で、非常に高い行政コストなど微塵も反省していない。地方に任せるものは地方に。1000兆円の赤字がある今、ムダは許されない。

賛成討論

若泉議員

賛成の立場で討論します。利根町民は戸田井橋から河内町まで、利根川の沿川に住んでおります。昭和56年小貝川の水害、また3月11日の大震災により、利根川の堤防は何ヶ所も危険な状態になっているので早い復旧が望まれている。また、野球・テニスコート・ゴルフ場があり、佐原の河川事務所から許可をいただいている。もし事務所が撤廃されると直接国の方へ行かなければならないので、利根町としては大変不便になる。

利根町農業助成金制度の見直しを求める請願書

紹介議員 花嶋美清雄・高橋一男

農業助成金制度は、転作作物を作付した面積に応じ、担い手育成支援として10アール当たり営農組織に1万円、個々の農家に5千円の助成を行っており、営農組織を構成しない限り助成金に差がでるような仕組みであるため、制度見直しを求めるもの。

請願は、総務産業建設常任委員会へ付託された。総務産業建設常任委員会で慎重に審査され、12月16日の本会議で委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった。

総務産業建設常任委員長の報告要旨

利根町農業助成金制度の見直しを求める請願書の審査報告をします。

審査は、12月14日の水曜日、午前9時から総務産業建設常任委員会を開催し、全委員が出席した。経済課長から、農業助成金制度の概要について説明を求め、制度の内容を各委員が理解したうえで審査に入りました。審査は全委員から、請願に賛成する討論がありました。つまり個人にも組合等にも、助成金は同額にすべきという意見でありました。

反対討論 白旗議員

請願には誤解に基づく面があったり、自治体の自主決定権に関わる面があるので、請願者の心情はわかるが、必ずしも賛成できない。

しかし、利根町の農業政策にはかなり問題がある。農業を基幹産業と位置付けるのならば、今回の請願を町の農業政策への問題提起の一つとして重く受け止め、改めて政策全般を見直して欲しい。

賛成討論 若泉議員

請願第1号に対し賛成です。なぜかと言うと、町長の農業政策の考えは、これからの担い手育成をしていくために、法人営農組合に対し10アール1万円の補助金を出している。その考え方に反対はしない。しかし請願第1号は飼料米に対する請願です。JA竜ヶ崎は龍ヶ崎・牛久・利根と既に統合されており、龍ヶ崎・牛久は1万円の補助金が出ている。同じJA竜ヶ崎で格差をつけるのは良くない。利根の農家を思うならば同額の補助金を出すべき。

賛成討論 高橋議員

飼料米補助金について、JA竜ヶ崎では龍ヶ崎市・牛久市とも10a当り1万円の補助金、ところが利根町は5千円の補助金であり、近隣市町村では利根町の補助金が一番低い。個々の農家から非常に不満の声がある。これまで生産調整に全面的に協力し、まじめな農家に対する補助金の出し方に問題があると考えられる。ぜひ町の補助金を見直して、個々の農家に補助金の格差を解消することを願う。

※この請願は、12月16日の本会議で賛成多数により採択となった。

「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求める請願

紹介議員 今井利和・坂本啓次・守谷貞明・花嶋美清雄
新井邦弘・船川京子

次のことについて、意見書の提出を求めるもの。

- ・容器包装リサイクル法の役割分担を見直し、分別収集・選別保管の費用のあり方を検討すること。
- ・リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）を促進するため、次のような様々な課題へも対応について検討すること。
 - ①レジ袋など使い捨て容器の発生を抑制し、リユース容器の普及を促すこと。
 - ②容器包装リサイクル法の対象範囲を拡大すること。
- ・製品プラスチックのリサイクルを進める仕組みのあり方について検討すること。

請願は、厚生文教常任委員会へ付託された。厚生文教常任委員会で慎重に審査され、12月16日の本会議で委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった。

厚生文教常任委員長の報告要旨

12月13日に厚生文教常任委員会を開催し、①指定法人ルートによるリサイクル法。②容器包装リサイクル法における各種団体の役割分担。③容器包装リサイクル法の附帯決議。④2Rを促進する容器包装リサイクル法の改正についての請願署名のお願い。の4部の資料を基に審査をし、次の意見が出されました。

環境づくりから。一日も早く2Rに近づけなければならない。再使用方向で。事業者がごみにならない容器包装を。省資源の容器包装を積極的選ぶ。現状の問題を解決する突破口という意味で賛成。実効性のあるリサイクル法の施行を。などの意見が出されました。

採決の結果、請願第2号は全員賛成により採択となりました。

賛成討論

白旗議員

現在の容器包装リサイクル法では、リサイクルコストの行政の負担が大きすぎるとの請願者の指摘は正しいと思う。しかし、コストをどのように負担するかは、メーカー負担とともにもっと受益者負担の道を考える必要がある。

請願者の2R（ReduceとReuse）を促進する案は、現在の流通システムを大きく変えるなど非現実的な面があるが、法の問題点を議論の俎上に乗せる意味で、賛成する。

※この請願は、12月16日の本会議で全員賛成により採択となった。



問 この談合情報に心当たりあるか

答 情報は承知していません

高橋 一 男 議員

問 飼料米の補助金について、利根町で生産に意欲的な農家、かつ減反、生産調整に全面的に協力している農家に対する飼料米用補助金が、龍ヶ崎市・牛久市と利根町との間で不公平な補助金の出し方に非常に不満を持っている。

近隣市町村では、取手市が2万2千円、守谷市が1万8千円、つくばみらい市が2万円など、すべて1万円以上。利根町だけが5千円で、この件に関してJ A 竜ヶ崎の組合長と話し合っているが内容は、また請願が可決した場合、見直しも含めて検討する考えは。

答 将来の農業を育成するためにも担い手に10a当り1万円を出しているのので飼料米に対する補助金のアップは考えていない。ただ予算の関係上2千5百万円の中の結果次第では検討する。

問 9月定例会で議員提出議案、条件付一般競争入札の拡大を求める決議が賛成多数で可決した。これは、公共工事の入札制度の見直しと判断された、町長の決断を伺う。また、今回入手したA4の用紙ここに持っています。この内容は談合情報です。この情報は、入札決定前に出されたものです。内容については、余りにもはっきりしているのを読み上げませんが、発注者は利根町長、工事名、場所、落札予定業者が書かれています。みなさんの中で誰か見た方がいるか、この情報に心当たりあるか、指名委員一人一人に伺う。

答 企画財政課長、情報は承知してません。総務課長、同じく承知してません。学校教育課長、私も承知してません。都市建設課長、私も知りません。

問 農産物直売所見直しはいつ決断するのか

答 改めて住民のアンケートをとる

若 泉 昌 寿 議員

問 旧利根中学校跡地利用として遠山町長は、農産物直売所、レストラン、住民いこいの場を作る計画を立てている。しかし私の考えは、旧利根中学校跡地は交通渋滞、特に休日の夕方、利根町で生産される農産物の確保、また農協・商工会の積極的な協力が得られない。そのような状況で、6月議会で旧利根中学校の場所では開設は無理があるとの理由で決議されているにも関わらず、遠山町長は見直す考えの答弁がない、一体今後どうするのか。

答 6月定例議会の中で採択された農産物直売所開設のあり方の再検討を求める決議の中で指摘があり、課題や問題点は土地利活用推進協議会で議論してきた件と共通する部分がある。11月29日開設した土地利活用推進協議会に改めて旧利根中学校第一グラウンドの利活用について協議をしていただいた。結果として、無作為に

2000人の方、16歳より80歳までの人を抽出してアンケートをとることに決まり、12月末までに返信をお願いしている。今回のアンケートは農産物直売所を開設した方が良いか、しない方が良いかのアンケートではなく、第一グラウンドを町は活性化のため利用したい、そのために町民の意見を聞くというアンケートです。結果が出次第、また土地利活用推進協議会の中で協議し、今後の利活用をどのような方向で利用するのか決めていきたい。



問 平成 24 年度予算の編成方針を問う

答 徹底した経常費削減と重点事業への予算配分を目指す

白旗

修議員

問 恒常的な財政難のなか、予算をどのように編成するか。特に歳入の増加策と歳出の削減策について基本的な考え方と方策について伺いたい。

答 町税の大幅減収による財源不足が見込まれるため、引き続き臨時財政対策債の発行や特定目的基金の取り崩しに頼ることになる。このような厳しい財政状況を職員一人一人が意識し、事業の見直しを図り経費を削減するとともに、基本計画や子育ての施策に重点的に予算を付けるように指示している。

問 今の話を聞くと、歳入の増収策と歳出の削減策が非常に不足しているように私は思う。また、事業の見直しによる徹底した経費削減というが、事業の見直し、つまり、既存事業の評価は不十分ではないか。

答 事業の評価は内部職員の評価と外部委員の評価を含めて4回行っている。これまでの外部委員による評価でも、500万円以上の事業はおおむね現行どおりでよいという意見をいただいている。

問 主要事業の最終評価が「おおむね現行どおりでよい」というのでは、チェックになっていないのではないか。このような結果になるのは評価の方法がよくないのではないか。次の質問に移りたい。

私は以前から事業のあらゆる局面で住民の力を借りるべきだと提案しているが、これについてお答えいただきたい。

答 議員の提案に十分添うものかはわからないが、町内の自治会や各種ボランティア団体の情報共有のためのサイトをホームページに立ち上げるところだ。このサイトをベースにして、横のつながりを作っていこうと考えている。

問 災害時玄関その他ドアの開閉はされるのか

答 施錠しているドアは職員が開錠する

花嶋

美清雄 議員

問 施設防災について、公民館等で災害が起きた場合、施錠されたドアの開錠、避難経路の指示はされるのか伺います。

答 開館時、公民館・生涯学習センター・図書館・コミュニティセンターは開錠してある。保健福祉センターは、職員が非常口を開錠する。避難の指示は、防災マニュアルに基づき、利用者の安全を確保し行動するよう指示している。

問 高齢化が進み、トイレの段差やスリッパの履きかえに大変ご苦労されるのを見て、改善する考えはあるか伺います。

答 お年寄りや体が不自由な方に配慮したバリアフリー対策として、トイレの段差を改善したいと考えている。診療所は先月でスリッパの履きかえをやめている。

問 利根川堤防被害の現状と復旧について、経過説明と工事の着工・完了時期と通行止め解除はいつになるか伺います。

答 町内の利根川堤防の本復旧は、5月末に完了する見通しです。

問 健康歩道を造る予定はあるか、総予算は幾らか伺います。

答 フレッシュタウンから堤防に上がる階段左側に23年度中に完成予定です。工事費は400万円前後です。

問 東日本大震災以降、正常に使えない防災無線はあるのか伺います。

答 立崎と生涯学習センターの2基が傾斜したが、11月半ばに修繕しました。工事は1日、2基で19万5千円です。

問 来年度の税収の見込みは

答 相当の減収は確かだと思っている

守谷 貞明 議員

問 高齢化と労働生産人口の減少。さらには、大震災での被災による雑損控除等でかなり大幅な町民税の減収が予想されるが、来年度の税収総額の見込みは。

答 まだはっきりしたことは解りませんが、個人住民税で7%。固定資産で9%ぐらいになるかと予測しています。

問 この、減収分についての財政手当は。

答 予算の不足財源につきましては、特定目的基金、あるいは財政調整基金を充当します。それでも不足すれば、臨時財政対策債を発行して対応します。

問 財政再建について。大幅な歳入増が見込めない以上、より一層の歳出削減が必要です。利根町の歳出で最大のウエイトを占めるのが、議員報酬も含めた人件費。

財政基盤の脆弱な欧州の小さな町では、ボランティアで働く議員が多く、日当制で年間60～80万円程度です。私は常々、アメリカや欧州の地方都市のように、議員報酬を日当制にすべきだと主張してきました。高橋一男議員と花嶋美清雄議員も同じ考えで、同じ志を持つ仲間が増えました。少しでも町の財政再建に寄与できれば良いと願っています。

利根町の50億円の予算の内、約27%が人件費で、赤字体質から脱却するには、この最大の支出、人件費の削減を避けて通れません。そこで、町長のお考えは。

答 利根町は茨城県の44市町村のうち、給与ランキングでは32番目の低さで、問題なのは、職員の人数です。現在162名おります。徐々に減らし、平成32年度までに、定年退職者50名が出ます。

全体の、大枠で調整してゆく考えです。

問 音声自動応答サービスの導入について

答 貴重な提案と受け止め、調査をしていく

船川 京子 議員

問 町民の生活に密着した問題をテーマとする住民説明会等には、手話通訳を導入すべきであると考えているが町の見解を伺う。

答 必要性を十分考慮し対応したい。

問 年中児を対象として行う5歳児健診は、幼児の発達における問題点を集団に入ってからの様子を加味して判断ができ、また就学までに一年以上の猶予があり、家族の理解、本人への療育、就学援助などを行う期間も確保できる。3歳児健診の時点ではその特徴が見えにくい、コミュニケーションをとるのが苦手という、発達における問題点の見逃しを無くすために、その実現を願うが町の見解を伺う。

答 5歳児健診よりも1歳半・3歳児健診を充実させることが最善と考える。

問 平成11年に「男女共同参画社会基本法」が国会で成立し、「男女が社会のあらゆる分野で、性別にとらわれることなく、おたがいの人権と個性を尊重し、自らの生き方を選択できる男女共同参画社会」を目指している。町民の関心と理解を深めるために必要な、啓発活動を行うべきではないかと考えるが町の見解を伺う。

答 いろいろな機会を通し啓発活動を行なっていきたい。



問 学校統合で教育の充実は図られたか

答 多人数の学習タイケンが可能になった

井原正光議員

問 子供達の学校環境の充実は図られたか。

答 クラス替えや学習グループ替えがしやすくなり、お互いに学び合う学習ができ、児童生徒が教員との触れ合いから豊かな心や逞しさを養うことが出来ております。またクラブ・部活動で選択科目の拡大、また多数の課外活動が実施でき、運動会や学習発表会の行事等にも集団で実施出来ます。教育予算は統合時に比べ、施設管理費・人件費等の削減が図られ、学級数や児童生徒の増加に対応した、学校施設の充実を図るための予算に充てることが出来た。エコ化の中で、環境負荷の軽減や環境エネルギー教育への積極的活用から、太陽光発電設備の導入、学校のICT環境整備で各教室にデジタルテレビ、各教師に校務用PCの導入を行うなどの学校運営費を効果的に活用し、教育環境を充実することが出来た。

問 子供達を守る放射線量の測定と除染は。

答 放射線対策本部を11月2日に立ち上げた。国の汚染状況重点地域の指定を受け、除染する計画書を作成する準備を進めている。また除染をした場合、どの位かかるか積算を進めている。公園の主な所、その中で8ヶ所を全体的に除染、削って草むらを剥がしてやると1億1千万円かかる。その土をどこへ持って行くか。掘って埋めなければならない。今のところ方策がない。

問 TPP交渉参加対策は。

答 10年後には関税の完全撤廃ということで、日本の農業に大きな打撃があると認識している。町は稲作が殆どなのでダメージがあると思う。打破するため集約化や基盤整備を進める。生産コストを下げるのが一番の課題である。

お知らせ

町議会を傍聴しましょう！

議会は町政の一端を知る絶好の場です。町政の実態を知るために、また、住民の皆様が選んだ議員が何を今どのように質疑し、審議をしているかを知るためにも、ぜひ議会の傍聴にお出かけください。

今回、12月定例議会・臨時会の傍聴者は延べ118名でした。

次回の定例議会は3月1日（木）から開催予定です。傍聴の予約は不要です。

町議会の詳細は議会会議録で！

この「議会だより」は、町議会で行われた議論等の内容を要約してお知らせしております。もっと詳しく知りたい方は、「利根町議会会議録」をご利用ください。

議会会議録は、町立図書館と役場1階エレベーター前の資料閲覧コーナーにあります。1ページ20円で複写サービスも行っています。図書館受付または議会事務局に申し出てください。

利根町ホームページ (<http://www.town.tone.ibaraki.jp/>) でも見られます。

利根町議会日誌

(平成23年10・11・12月)

平成23年12月31日現在

月	日	曜日	活 動 内 容
10	6	木	利根町担い手育成総合支援協議会
	〃	〃	龍ヶ崎地方衛生組合議会視察研修 6・7日
	10	月	第40回町民運動会
	12	水	県南町村議長会
	〃	〃	広報編集委員会
	〃	〃	広報検討委員会
	13	木	2011人権同和問題学習会
	〃	〃	龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会視察研修 13・14日
	17	月	平成23年第3回臨時議会
	〃	〃	利根町冠水対策特別委員会
	18	火	平成23年第3回稲敷地方広域市町村圏事務組合議会臨時会
	19	水	県南町村会行政視察 19日～21日まで
	20	木	美浦養護学校第3回体験入学視察
	23	日	第62回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南南部地区大会
27	木	平成23年度町村議長行政視察 27日～29日まで	
〃	〃	利根町小中学校音楽を楽しむ会	
〃	〃	平成23年第2回龍ヶ崎地方衛生組合議会定例会	
11	1	火	県南町村議会議員大会
	3	木	第26回利根町文化祭
	〃	〃	第3回利根町地場産業フェスティバル
	〃	〃	つくばみらい市5周年式典
	5	土	平成23年度取手地区地域安全運動推進大会
	10	木	平成23年第2回龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会定例会
	14	月	全員協議会
	16	水	第55回町村議会議長全国大会
	17	木	全員協議会
	18	金	常磐線東京駅乗り入れ促進大会
	21	月	議会運営委員会
	22	火	平成23年第2回稲敷地方広域市町村圏事務組合議会定例会
	〃	〃	主要地方道美浦栄線開通式典
	24	木	利根町老人大学
	〃	〃	全員協議会
	28	月	平成23年第4回臨時議会
	〃	〃	全員協議会
29	火	議会運営委員会	
〃	〃	平成23年度第2回土地利用推進協議会	
〃	〃	平成23年度利根町建設業協会通常総会	
12	6	火	平成23年第4回定例議会 6日～16日まで
	〃	〃	全員協議会
	12	月	全員協議会
	14	水	利根町冠水対策特別委員会
	26	月	全員協議会

発行/利根町議会・議会広報編集委員会

〒300-1696 茨城県北相馬郡利根町布川 841-1

TEL 0297-68-2211 FAX 68-7990

発行責任者：利根町議会議長 五十嵐 辰雄

編集担当：若泉 昌寿/高橋 一男